

校名	大阪府立 四條畷高等学校
校長名	稲葉 剛

開催日時	令和4年 11月 16日 (水) 15:30 ~ 17:00
開催場所	大阪府立 四條畷高等学校 東館2階 大会議室
出席者(委員)	田中 保和会長、梅田 和子副会長、鉄 寿広委員、串田 ゆか委員 白井 博之委員
出席者(学校)	稲葉校長、森教頭、竹島事務長、堀江首席、安川教諭、西教諭 安川教諭、西教諭、藤板教諭、中西(祐)教諭、植田教諭、秦教諭 谷野教諭、中尾教諭、宮崎教諭、中西(勇)教諭、森長教諭、島田(文責)
傍聴者	なし
協議資料	(1)「令和4年度取組の進捗状況について」 (2)今年度の活動について (3)スクールミッション・スクールポリシーについて (4)令和5年度使用教科書について (5)その他
備考	なし

議題等(次第順)	
1. 学校長あいさつ	
2. 協議・報告	(1)「令和4年度取組の進捗状況について」 (2)今年度の活動について (3)スクールミッション・スクールポリシーについて (4)令和5年度使用教科書について (5)その他
3. その他	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
(1)「令和4年度取組の進捗状況について」… 校長より説明	
1.7月以降の主な学校行事について	
2.令和4年度学校経営計画の進捗状況について	
3.本校のスクールミッションについて	
4.本校の現状と課題	
(2)今年度の活動について	・生徒たちが先生たちと積極的に取り組んでいる。熱心で高い授業力を見せてもらった。施設に関しても、生徒たちが学べる環境が整っていて、学習意欲を高められる工夫がされていると感じた。GLの評価においては、四條畷のどうい

うところを評価されて AA になったのかを聞きたい。習熟度別を変えたという点で、生徒たちの変化があったのかを聞きたい【委員】

・目立った実績は「進路実績」と「探究活動」であった。国公立の進学率は現役進学率 GL の中で 4 番目、特に京阪神三大学への進学率が高い。「探究活動」の実績も高い評価だった。習熟度別に関しては、様々な教諭がプラスに評価している印象。B1,B2 だと、B1 の生徒たちが劣等感を抱いていたがそれが無くなった気がする。今は数学・英語で標準、発展クラスの 2 クラスに分けているがやりやすそう。【校長】

・みんなが希望したクラスで受けられていることから、生徒たちに合わせた指導ができています【教諭(英語)】

・去年まであった B1,B2 の課題は劣等感、クラスの雰囲気だった。今の三年生を見ているとクラスの雰囲気がよい。文化祭の活気も個人的によかった気がした。成績に関してはまだすぐに答えは出せない。生徒は受け入れてくれている子が多く感じる。【教諭(3 年学年主任)】

・校内を見ていると、生徒が研究したポスターなどを貼っていた。そのようなたくさんのもに触れると視野が広がって良いと感じた。レベルが高い研究を見ることで生徒たちのモチベーションが上がると感じた。多浪の生徒や退学する生徒についても知りたい。・74 期生は 74 人が浪人した。そのうち 20%は国公立に受かりながら浪人している。退学よりは転学が多い。3 年生は 6 人転学、2 年生は 2 人、1 年生は 1 人転学者がいる。【校長】

・楽しく学校生活を過ごして卒業してほしい。【委員】

・中学校でも、体育祭が盛り上がっていた。高校と同じでみんなが協力していい体育祭ができていた。いろいろな取り組みは継続してやっていくべきだと感じた。生徒が成長するにはそのような取り組みが欠かせないことを実感した。四條畷でも去年までできなかった行事ができていたようでよかった。・大学での入試は変わったのか。【委員】

・この 10 年で見ると国公立大学でも推薦入試で大学へ入学する生徒が増えた。【教諭】

・単純な暗記、理解では解けない問題が増えている。中学校でも勉強の方向性を変えなければならないと考えている。生徒たちが考える授業をタブレットを使って行うなど工夫が求められている。小中でよく言われている授業改善は高校ではどうなのか。【委員】

・生徒たちが主体的な活動をする人が多いと感じている。生徒が教える生徒が教師になって授業を進めることが多い。研究授業でも、ただ単に見に行くだけでなく、みんなで話をする。研究協議をするということが大切なのではないかと思う。授業は楽しくわかりやすいをモットーにしてほしいので、ペアワーク、教え合い、ICT を手段としてがんばってほしい。【校長】

・本日の授業を見ていると、授業改善が進んでいると感じた。【委員】

・生物の授業を見て、どうしてこれが必要なのかを教諭が語っていて、勉強と社会のつながりを大切にしていると感じた。・遅刻者が増えている原因を知りたい。生活面で生徒が困っていることが何かあれば教えてほしい。【委員】

・登校支援(遅刻指導の対象としない)が 21 名いる。勉学に対して自身を失う生徒も数名おり、遅刻者が増えている印象がある。【教諭】

・探究活動など、日本の将来に役立つ研究をしていると感じた。スクールミッションポリシーは今出ている案をベースにして頑張してほしい。

・職員の負担が大きそう。働き方改革に向けて減らせるものは減らしてほしいと感じる。残業についてはどうなのか。【委員】

・教育庁が 9 月からアラームメールを配信している。月 30 時間勤務時間外労働をしている職員にメールが届く。これを見ても残業している職員は減っていない。声掛けはするよう心がけている。【校長】

・学校の環境づくりでの課題は？【委員】

・ハード面では恵まれている。ソフト面で生徒たちが楽しく学校生活を送るにはどうすればよいのかが課題。ハード面では 120 周年記念に関連してさらに環境を整えていきたい。【校長】

・変えることが不安になる方も多いと思う。時間だけが働き方改革ではない。優先順位をつけて働くことも意識してほしい。効率化に関してもペーパーレスにするなど様々な取り組みがあるが、すぐ効果が出るかどうかを評価するのは難しい。【委員】

・SSH の 3 期申請について、どうなりそうか。【委員】

・大阪府は SSH 指定校が多い。去年は 2 校が認められなかった。中間ヒアリングも真ん中くらいの評価で悪くなかった。地域の連携などを意識しながら申請したい。【校長】

・昔と比べて今は学校をあげて SSH 申請に力を入れていると感じる。【教諭】

・教諭で何か意見があれば【委員】

・73 期では 40 名中 10 名が指定校・公募の推薦をした。7 月末から 10 月にかけて課題作文、作業などが大きい負担だった。【教諭】

(3) スクールミッション・スクールポリシーについて

資料配布

(4) 令和 5 年度使用教科書について

資料配布

(5) その他特になし

以上

次回の会議日程

日時	1 月下旬～2 月を予定
会場	未定